

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の概要

カーボン・オフセットとは、自らの温室効果ガス(GHG)排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量を把握し、他の場所で実現したGHG排出削減・吸収量等の購入、他の場所でGHG排出削減・吸収を行うプロジェクトや活動の実施等により、その全部又は一部を埋め合わせるという考え方である。本事業では、カーボン・オフセットに関する情報提供、各種ガイドラインの整備、モデル事業等を実施する。また、J-VER制度の運営し、エネルギー起源CO₂の排出削減プロジェクトを推進する。これらを通じて、信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及に努める。

2. 事業計画

国内の排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いるクレジットとして認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」について、会議の開催等の運営を行うと共に、本制度の対象となるエネルギー起源CO₂の排出削減プロジェクトの活用を促進するため、全国説明会の開催等を通じた広報、制度活用事業者に対する検証面等の支援事業、制度の対象プロジェクトを拡充するためのモデル事業等を実施する。

カーボン・オフセットに関する相談支援や情報提供等を行うカーボン・オフセットフォーラムを、平成20年度に引き続き、設置する。また、日英カーボン・オフセット情報交換協定に基づくワークショップの開催や先駆的な取組を行う国々(米、英、仏、豪等)との情報交換を行う。

カーボン・オフセットについて、地域の特色を活かした取組や国民・事業者への普及効果の高い取組等を創出するためのモデル事業を実施する。

3. 施策の効果

カーボン・オフセットの推進は、事業者、国民など幅広い主体による主体的な排出削減対策を強化するとともに、J-VER制度により国内における排出削減・吸収プロジェクトの実施に資金面で貢献することとなるため、本取組の推進により、京都議定書の目標達成にも資することとなる。

カーボン・オフセット推進事業

<カーボン・オフセット>

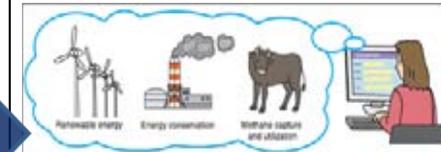
市民・企業等が、自身の温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない部分を、他の場所の削減・吸収量(クレジット等)で埋め合わせること。



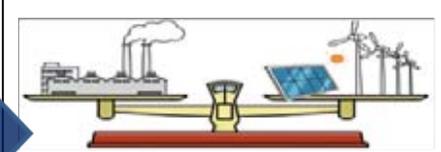
家庭やオフィス、移動(自動車・飛行機)での温室効果ガス排出量を把握する



省エネ活動や環境負荷の少ない交通手段の選択など、温室効果ガスの削減努力を行う



削減が困難な排出量を把握し、他の場所で実現したクレジットの購入または他の場所での排出削減活動を実施



対象となる活動の排出量と同量のクレジットで埋め合わせ(相殺)する

事業概要

カーボン・オフセットフォーラムを活用した相談支援・セミナー開催・国内外の動向の情報提供、カーボン・オフセットの先駆的な取組を行う国との連携・情報交換等

地域の特色を活かしたカーボン・オフセットの取組や国民・事業者への波及効果の高いカーボン・オフセットの取組等を創出するためのモデル事業の実施

国内の排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いられるクレジットとして認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」の運営・整備拡充

J-VER制度に関する全国説明会の開催・広報活動、制度活用事業者に対する資金支援等を通じたJ-VER制度の活用促進

事業の効果

信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及促進